

科目ナンバリング		U-LET24 36731 LJ36									
授業科目名 <英訳>		東洋史学(特殊講義) Oriental History (Special Lectures)				担当者所属・ 職名・氏名		人文科学研究所 教授 岩井 茂樹			
配当 学年	3回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2019・ 後期	曜時限	金1	授業 形態	特殊講義	使用 言語	日本語
題目		近世東アジアの交易と外交									
[授業の概要・目的]											
<p>中国が近隣地域と交易するさい、安全保障と徴税の確保のため、官府がこれを管理しようとした。宋代以降の市舶司、清代の海関はこの目的を果たすために設置された。また、周辺の諸国においても、体外交を管理する制度が整備されていった。この講義では、このような交易制度に関する資料を読み解きながら、制度変遷の過程を考察する。さまざまな時代の資料についての知識と、それを解読する技能とを高めるとともに、交易の制度や商人の活動、および外交との関わりなどについて、歴史的な理解を深めることを目的とする。</p> <p>後期の授業では、明代永楽年間から明末期までを対象とする。</p>											
[到達目標]											
宋代以降の通商・外交についての諸資料の取り扱いに習熟し、さまざまな角度から解釈する能力を高める。とくに、公文書に特有の語彙や文章の構成についての確実な知識を獲得する。											
[授業計画と内容]											
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 明代の朝貢貿易と市舶司の性格について（第1～4週）</li> <li>2. 海禁の弛緩と広州における課税貿易の制度（第5～8週）</li> <li>3. 倭寇問題と福建の海禁緩和（第9～12週）</li> <li>4. 日本への「通番」（第13～15週）</li> </ol>											
[履修要件]											
本特殊講義では史料文献の講読をおこなう。漢文資料について経験のない方にも解りやすく解説するが、辞書をひいて自分の頭で考えることが求められる。											
[成績評価の方法・観点及び達成度]											
学期末のレポート試験によって成績を評価する。											
[教科書]											
授業中に指示する 教材は当方で用意し配布する。											
[参考書等]											
（参考書） 授業中に紹介する											
[授業外学習（予習・復習）等]											
配布した資料にあらかじめ目を通し、釈読できない箇所など問題点を把握しておき、講義のなかでその問題が解決されなければ質問をすること。											
（その他（オフィスアワー等））											
オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。											